



子ども劇場図鑑3 案

- ~子ども達とかつて子どもだった大人達に~
 - ・大人には懐かしく、子どもには新しい
 - ・お祭り夜独特の高揚感、非日常感
 - ・夕暮れ (雑然) ~ 夜中 (集中) ~ 明け方 (解放)

夕暮れ

- (開場)
- 開場内は夕暮れの縁日、「お囃子」演奏
- ・自由にあそぶ合唱隊の子供たち
- ・ 紙芝居、人形劇、影絵はそれぞれの屋台で準備

(開演)

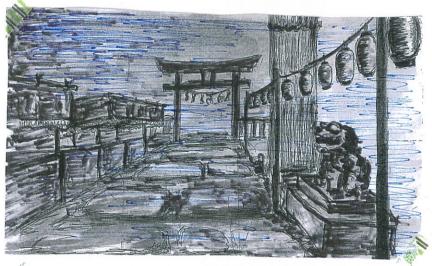
・ 紙芝居屋さん、子供たちを集める・ 「紙芝居」



夕暮れから宵の口へつなぐ 例えば「夕焼け小焼け」

宵の口

・ 人形劇屋さん、子供たちをあつめる「人形劇」





合唱隊

宵の口から夜中へつなぐ 例えば「かごめかごめ」

夜中

- ・ 合唱の間に照明が落ち、静寂へ
- 影絵の明かりが入り、おもむろに影絵始まる 「影絵」 (怪談系?) +読み手(+演奏)

影絵の間に、 合唱隊、その他演者は裏へはける

夜明け

- 暗転から、夜明け
- ・ 夜が明けると観客を残し誰もいない、祭りのあと

(終演)

コンテンツ 「紙芝居」 「人形劇」 「影絵」 「合唱」 「お囃子」